

甘藷振興で心配されるサツマイモ基腐病に関する勉強会の開催

檜葉町長との意見交換から、地域の困りごと（心配ごと）を聞き取り、サツマイモ基腐病に関する勉強会を主催。東北各県拠点の協力により、県内外の産地から農業者が参加。

○ 施策分類

その他（生産振興・技術対策）、病虫害

○ きっかけ・背景、課題の把握

甘藷の産地化に取り組む檜葉町では、種苗施設、貯蔵施設及び加工施設を建設し、原子力災害からの復興に取り組んでいる。町長と地方参事官との意見交換の際に特産品のサツマイモの病気の発生を懸念する発言があったため、震災復興室と連携しJA福島さくら檜葉町甘藷部会員を対象に「サツマイモ基腐病に関する勉強会」を開催。

○ 取組の内容

本勉強会は、他産地にとっても病気への理解を深める良い機会になると考え、会場をWebで繋ぐこととし、東北各県拠点からの周知により、32名（県内27名、県外5名）の農業者等が参加した。

講師は、東北農研の紹介により、農研機構の専門家に依頼。本省農産局地域作物課が「かんしょをめぐる状況」について説明したのち、サツマイモ基腐病対策について、講師による講義が行われた。

講義では、サツマイモ基腐病は南九州のみで蔓延、他の発生県では広まっていないこと、苗床や本圃で異変を感じた場合は、直ぐに普及所やJA等の営農指導員に連絡し、県の病虫害防除所の指導を受けることと、基腐病菌を①持ち込まない、②増やさない、③残さない、の3つの「ない」の対策を組み合わせることの大切さを学んだ。

○ 効果・成果、今後の方向性

檜葉町は、この勉強会の内容を広報誌に掲載して生産者への周知に努めており、当拠点は今後も町と連携する。



勉強会の様子



甘藷貯蔵施設

